

参加無料
和歌山市民
対象

人生の最期は穏やかに

～在宅医療と「平穏死10の条件」～

長尾和宏先生は阪神淡路大震災を契機に兵庫県尼崎市で開業され、「町医者」として長く在宅医療にかかわって来られました。コロナ禍においても独居で認知症の高齢者を「一人も死なさへん」と訪問診療を続けられました。この間2000人以上の方を看取られ、様々な「看取り」を経験された結果「平穏死」という言葉を提唱され、現在はあらゆるメディアを通じて人生会議やACP、在宅医療の重要性を発信されています。人生の最期は住み慣れた地域で、その人らしく生きる。そして、その人らしい死を迎えるための「平穏死10の条件」とは…。

全国放映された映画「痛くない死に方」の原作者、長尾和宏先生の熱く、優しい語りを実感していただきたいと思います。

▶日時:2025年**3月15日**(土)

14:00～16:00(受付13:30～)

▶会場:和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階ホール

〒640-8317 和歌山市北出島1丁目5-47

▶定員:300名(先着順)

▶申込期間:2025年2月10日～2025年3月10日

▶申込先:**073-422-6003**(平日:9時～17時)

和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター宛

講師:医師・医学博士 **長尾 和宏** 先生

【長尾和宏先生プロフィール】

医師、医学博士。書籍の出版やインターネット配信等、様々なメディアで長年の町医者経験を活かした医療情報を発信する傍ら、時々音楽ライブも行っている。主な著書に『「平穏死」10の条件』(2012年のベストセラー)「痛くない死に方」「薬のやめどき」「男の孤独死」「病気の9割は歩くだけで治る」など、病気の予防から看取りまで寄り添う総合診療の大切さを伝え続けている。原作となった著書「痛い在宅医」は2021年に柄本 佑主演で映画化され「痛くない死に方」というタイトルで全国上映された

